

令和3年度（令和2年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和3年8月

長南町教育委員会

目 次

■ はじめに	・・・・・・・・ 1
■ 令和2年度教育委員会の指針	
○ 学校教育の指針	・・・・・・・・ 2
○ 社会教育の指針	・・・・・・・・ 3
■ 点検・評価結果	
○ 学校教育の指針	
（1）「生きる力」の育成	・・・・・・・・ 4
（2）言語・体験活動の充実	・・・・・・・・ 5
（3）地域とともに歩む学校づくり	・・・・・・・・ 6
○ 学校給食の指針	
（1）心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築	・・・・・・・・ 7
○ 社会教育の指針	
（1）学習ニーズに対応した社会教育	・・・・・・・・ 8
（2）青少年の健全育成	・・・・・・・・ 9
（3）体育・スポーツの振興	・・・・・・・・ 10
（4）伝統文化の継承と振興	・・・・・・・・ 11
■ 資料等	
○ 主な事業一覧	・・・・ 12～21

はじめに

1 趣旨

長南町では、第4次総合計画で「自然が誇り、住むことが誇り、元気な町 長南」を目指し、将来像を実現するための施策の6つの基本方針の1つに「人と文化が輝く人間性豊かなまち（教育・体育・文化）」を推進するため「生涯にわたり自己を高めようとする住民の意識等に対応した芸術・文化活動、生涯学習、体育・スポーツ活動の積極的な展開を図っていくこと」、「将来の町を担う大切な子供たちが、心豊かでたくましく、常に成長する気持ちを持ち続けられる大人に育つ長南町を目指していくこと」を掲げています。

長南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき「長南町教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、長南町総合計画に位置づけられた施策目標の重点的な取り組みとして「実施計画」に位置づけて実施した、令和2年度の主な施策・事業の成果をもとに、教育委員会が示した主要な指針としています。

3 点検・評価の方法

- （1）点検・評価にあたっては施策、事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の対応方向を示します。
- （2）点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きする機会を設け様々なご意見、ご助言をいただきました。

個性の伸長と「生きる力」を育む長南町の教育

安心

確かな学力と豊かな心をもち、
故郷を愛する「長南の子」の育成

安全



小学校

長南町教育（小中一貫教育）の推進

中学校



心豊かで
確かな学力を身に付けた
ふるさとを愛する児童の育成

変化に対応でき、
確かな学力を身につけた、
健康で心豊かな生徒の育成

学力と「人づくり」の教育

① 「生きる力」の育成

21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子どもを育成するための「生きる力」の育成

人生を拓く「確かな学力」

読み・書き・計算
自ら学び、自ら考える子
個に応じた指導と授業改善



思いやりのある「豊かな心」

道徳教育の充実
人との関わり・地域学習



活力にあふれる「健やかな体」

健康で丈夫な心身をつくる意欲
健全な生活習慣



② 言語活動・体験活動の充実

主体的・対話的な学び
学習意欲・自己肯定感を
高める



キャリア教育の推進
すべての教育活動で



キラリ輝く長南っ子事業
地域の伝統工芸・文化の継承
本物の芸術に触れる事業



特色ある外国語活動
教室を離れて
活動主体の楽しい授業



③ 地域とともに歩む学校づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現

小学校コミュニティ・スクール
地域学校協働活動の推進



- ◎ 基本的習慣の徹底（自転車の乗り方・好ましい人間関係・学習のきまり等）
- ◎ 不登校〇、いじめ〇への取組（いじめ防止対策基本方針・小中連携）
- ◎ 地震や火災・不審者への避難訓練の徹底
- ◎ 人権教育、個性伸長の教育、命の大切さの教育の意図的・計画的・継続的な実践



あなたが主役！
参加してみませんか！長南町の社会教育へ



《社会教育の指針》

人間性あふれる教育文化の向上

《うらおいと生きがいのある地域づくりをめざして》



さくら



うぐいす



ひのき



べにばな

長南町の社会教育施設



①学習ニーズに対応した社会教育

家庭教育・子育て教育への支援
町PTAへの活動支援
家庭教育支援講座
町民のだれでも学べる教室・講座の実施
生涯学習教室
人権教育への支援
人権講演会



②青少年の健全育成

青少年育成組織の充実と活動支援
青少年相談員活動
親子デイキャンプ
各種体験講座の開催
わくわく体験クラブ
ほたる観賞会

③体育・スポーツの振興

スポーツ教室の開催
武道教室（柔道・空手道）
社会体育関係団体への活動支援
スポーツ少年団活動・町スポーツ協会活動
体育スポーツ活動の場の確保
町民スポーツ大会等

④伝統文化の継承と振興

郷土文化の普及・学習支援
郷土資料館常設・企画展示
博学連携の推進
文化財の保護と活用
文化活動の振興と支援
文化祭の開催・文化団体支援



問い合わせ先：長南町中央公民館
TEL&FAX 0475-46-1194

学校教育の指針

施策 (1)	「生きる力」の育成
主要課題	21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子供を育成するために、「生きる力」の育成を図る。
取組内容	・人生を拓く「確かな学力」 ・思いやりのある「豊かな心」 ・活力にあふれる「健やかな体」
主な取組事業	1) 国際理解教育事業(小学校)、外国語指導助手業務委託(中学校) 小学校の全学年に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語活動等を行った。1～6年生32回/年。中学校全学年にも配置し、英語科におけるティーム・ティーチングによる指導、また保育所の英語活動も併せて行うことができた。 2) 海外交流研修事業(新型コロナウイルス感染症予防の為中止) 予定期日：令和2年8月16日(日)～8月24日(月) 研修地：オーストラリア(ゴールドコースト) 研修生：中学生20名(長南町) 引率2名(長南町) 内 容：ホームステイ6泊 ホテル1泊 機内泊1泊(8泊9日) 訪問校：グローブス・クリスチャン・カレッジ5日間
課題問題点	・ALTについては、4月～5月の緊急事態宣言に伴う臨時休校により年間計画が変更され小学校においては授業数の確保が困難となった。 ・海外交流研修は、世界的な新型コロナウイルス感染症の為中止 今後も終息時期が見込めない。
学識経験者の意見	「英語の音声や基本的表現に慣れ親しみ、言語や文化に対する理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとすること」が目的の小学校の外国語活動は、ALTを全学年に配置するなど国際理解教育の一環として有効であると考えます。 また「広い視野を持ち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と、共に生きていく資質や能力の育成」が図られる海外派遣交流は、予算や参加者の問題もあるが継続していく事業であると考えます。
委員会の評価	外国語教育は継続して外国語指導助手(ALT)を派遣し保育所、小・中学校の英語教育の充実を図り、国際社会を生きるためのコミュニケーションの素地を育成することができた。子どもたちは友達と主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ることができた。 海外交流研修事業は英語教育の実践の場であり、異文化にふれる場として貴重な体験でもあることから、今後も改善しつつ継続していく必要がある。

学校教育の指針

施策 (2)	言語活動・体験活動の充実
主要課題	大集団の中で育てなければならない資質・能力の育成を図りつつ、個を大切にしたいきめ細かい指導の充実を図る。 地域・保護者に見える教育活動、地域と連携した教育への取組を図る。
取組内容	・統合により生まれた大集団ならではの教育を推進しつつ、個々の考えを大切にする主体的・対話的な学びをめざし、教育活動を展開した。 ・キラリ輝く長南っ子事業で特色ある教育への取り組みを図った ・学校評議員制度を活用し地域の連携の在り方の意見を求めた。
主な取組事業	1) 学習支援指導員・教科指導員派遣事業 学級内の学習支援体制づくりの支援や、習熟度別指導への支援のために指導員を派遣した。学習支援指導員6名(小学校4名 中学校2名)。又、専門的な知識を有する教科指導員(1名)を週に2日配置し、教員の授業力向上のため小学校で指導に当たった。なお、コロナ禍での「学校の新しい生活様式」の徹底を求められる教職員の負担軽減も図ることが出来た。 2) キラリ輝く長南っ子事業 児童・生徒が各自の目標に向かって漢字検定にチャレンジするとともに、中学生においては、英語検定に取り組んだ。又、地域の伝統工芸である芝原人形作り(小4年生)・水稻学習、正月飾り作り(小5年生)、生け花体験学習(小6年生)を行い郷土への興味・関心の育成を図ることが出来たが、その一方で感染症予防のため合同芸術鑑賞会等中止した事業もあった。 3) 学校評議員制度 学校評議員や保護者からの意見等を各学校で検討し、改善策を図ることで地域との連携を深めた。
課題問題点	キラリ輝く長南っ子事業では、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、太巻き寿司(小5年)、紅花染め・袖風作り(中1年)、合同芸術鑑賞会が中止となった。
学識経験者の意見	学習支援指導員については、直接児童生徒を対象として学びの支援を行い、教科指導員については教師を対象として指導力の向上を図り、二本立てでより良い学校教育を目指したもので、高く評価したい。 「キラリ輝く長南っ子事業」での漢字検定・英語検定の取り組みは、子供たちの自ら学ぶ意欲を育て、その学びを実践するものとなるよう継続していただきたい。 地域の伝統工芸の体験学習を子供に提供していることを高く評価したい。それらの工芸が今後も地域に伝承できるよう家庭や地域を巻き込んだ取り組みとして継続していただきたい。
委員会の評価	学習支援指導員の活用では、きめ細かな指導により確かな学力を培うことができたばかりでなく、特別な支援の必要な児童生徒への対応にも有効であった。 キラリ輝く長南っ子事業では小学生が漢字能力検定、中学生が英語検定を行った。又、地域の伝統工芸継承については、「郷育」推進の観点からも、郷土の素晴らしさを知ることのできる貴重な体験であると考えます。

学校教育の指針

施策（３）	地域とともに歩む学校づくり
主要課題	小中一貫型教育の推進を図るとともに、町内唯一の小学校、中学校であることを踏まえ、地域から信頼され、地域から応援される学校づくりのため「地域に開かれた教育課程」の実現を図る。
取組内容	・小中一貫型教育の推進に向けて、町研究協議会に学校経営部会を設け、校長・教頭・教務・事務による連絡調整会議の実施。 ・地域人材の活用によるふるさと学習（郷育）の一層の推進。 ・学校運営協議会（コミュニテースクール）の推進。
主な取組事業	1) 小中一貫型教育の推進に向けて、小中学校の交流事業（教員相互の授業参観、合同避難訓練、PTA奉仕作業等）を実施。 2) 地域人材を活用した様々なふるさと学習（郷育）を積極的に推進し、地域の人々との交流を大切にする事で、地域の活性化とともに、長南が大好きな子どもの育成を図る。 3) 地域のボランティアを活用した子どもたちの見守り活動（スクールバス見守りボランティア）等の充実。 4) 長南小学校学校運営協議会 学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供の成長を支えた。
課題問題点	地域の方々の協力を得て学習を充実させるためには、連絡・調整とともに地域人材の把握が必要である。これらには多くの時間と労力を必要とすることから、本年度は中学校にもコーディネーターを1名配置し小中学校各1名配置し取り組んだ。
学識経験者の意見	社会に開かれた教育家庭の実現が新指導要領の柱でもある。小中学校ともに新年度始めに学校要覧等を全戸配布し、小中一貫教育推進に向けての教育課程等の町民への理解啓発に努めている。 福祉教育の研究指定期間は終了したが、高齢化社会の中で福祉の心を育む貴重な体験や経験をすることができ福祉に関心を持った児童生徒が増え福祉の裾野が広がりつつあるため、地域の施設や人材を活用し福祉教育の推進に努めてもらいたい。 地域とともに歩む学校づくりに各界の貴重な意見を聞く機会があることは良いことであるが、主体はあくまでも学校・児童生徒であるため、経営の方針・指針が多くの意見・要望によりぶれないように注意すべきである。
委員会の評価	長南小学校に「学校運営協議会」を設置し、コミュニテースクールをスタートした。小学校に配置したコーディネーターが中心になり、学校と地域の間に立ち双方の連絡・調整を行った。

学校給食の指針

施策（１）	心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築
主要課題	・日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。 ・学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。 ・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。 ・食糧の生産、配分及び消費について、正しい理解に導く。
取組内容	学校給食法に基づき、町内の小学校１校、中学校１校の児童・生徒及び職員等を対象に安全で安心な給食を年間１７９日提供した。
主な取組事業	１）給食の提供 ・小・中学校の児童・生徒及び職員などの４２１人に６９，８８６食の給食を提供した。 ・週５日の内、米飯給食４日、パン・麺類給食を１日提供した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校臨時休校により夏季休みが短縮（８月１日～２３日）され、学校開庁にあわせて給食を提供。 ２）啓発活動 給食だよりを月１回初旬（８月除く）に発行し、児童・生徒を通じて家庭への啓発を行った。 ３）食育事業 ・栄養士の給食時訪問として、小中学校各クラス１回以上、給食時に訪問し食育の講話を行った。 ・食育の場として、１０月に入学前児童の保護者を対象に「食育」に関する講話を栄養士が参加して実施した。 ４）食物アレルギー対応事業 食物アレルギー児童の保護者に「予定献立表（保護者選択用）」を配布し、事前にアレルギー食物の含まれる献立を把握してもらい、食物アレルギー児童・生徒に配慮した給食の提供に努めた。
課題問題点	学校給食は、学校の開庁期間にあわせて作る必要があるため、今年は通常より暑い時期に給食を提供したため給食の安全性の確保、衛生管理の徹底が求められた。
学識経験者の意見	心身が健全に発達するために、献立にバランスのとれた栄養やカロリー摂取量を考える共に、地域の食材を取り入れるなど、限られた予算の中で工夫がされ評価できる。 栄養士の給食時訪問や食育に関する講話等食育事業にも積極的に取り組まれていることはとても良いことである。 食物アレルギーのある児童生徒に対しての配慮も十分なされており評価できる。
委員会の評価	啓発活動や食育事業など児童・生徒、保護者を対象とした食育に積極的に取り組まれたことは評価できる。 又、食物アレルギーのある児童生徒に対し、保護者との連携がよく図られきめ細かな対応をしている。 今後も、学校給食を楽しみにしている児童生徒のために安全で安心な給食提供に努めることが必要である。

社会教育の指針

施策 (1)	学習ニーズに対応した社会教育
主要課題	・子育て教育への支援 ・町民のだれでも学べる教室・講座の実施
取組内容	新型コロナウイルス感染症防止のため、安全対策を講じながら教室を限定し、また、一部をオンラインにより開催した。コロナ禍の中で教室運営が難しかったが、特に問題なく開催できたと思われる。
主な取組事業	1) そば打ち教室 (第4月曜日:8/24から開催) (そば打ちの講習と実践) 2) カイロプラクティック運動教室 (第1火曜日:9/1から開催) (ゴムバンドを使って体のゆがみを整える運動教室) 3) ハワイアンリボンレイ教室 (第2土曜日:1/30からオンラインで開催) (カラフルなりボンで小物やレイを作る教室) 4) 三味線教室 (第2日曜日:7/12から開催) (三味線の基礎を学ぶ教室) 5) パッチワーク教室 (第2水曜日:8/26から開催) (パッチワークを楽しみながら基礎から学べる教室) 6) パソコン・スマホ教室 (第2火曜日:5月から長南集学校で開催) (パソコン・スマホ・タブレットの使い方を学ぶ教室) 7) ふるさと産品 (12/26実施) (正月飾り作りを学ぶ)
課題問題点	コロナ禍の中で開催可能な教室を限定して、また、開講を遅らせて開催したが、例年と比べ各教室の申込者数が少ない状況だった。申込が少ないことは、新型コロナウイルスの影響が非常に大きいと思われる。今後の課題として新型コロナウイルス対策が行われ、常に安全に教室を開催していることを周知する必要がある。
学識経験者の意見	コロナ禍の中で各種教室を安全に開催できたことは評価したい。今後も町民からのニーズや要望に応えながら、楽しく充実した教室運営が出来るように努めて頂きたい。
委員会の評価	新型コロナウイルス感染防止のため、教室を縮小したことにより、常に安全にまた、特に瑕疵なく教室を開催できたことは評価できる。難しいことだとは思いますが、コロナ禍においても教室生が参加して良かったと思われるような教室を開催する必要がある。

社会教育の指針

施策（２）	青少年の健全育成
主要課題	・ 青少年育成組織の充実と活動支援 ・ 各種体験講座の開催
取組内容	新型コロナウイルス感染症防止のため、例年と比べ実施した事業が少ないが各種事業を通して、子ども達に学校教育とは違う体験型の教室を提供できたと思う。
主な取組事業	1) わくわく体験クラブ事業 土・日を中心に学校授業とは異なった体験型プログラムや教室の一部をオンラインで開催し、児童相互によるコミュニケーションと子ども達の自主性を養った。 ①まが玉作り体験 ②プログラミング教室（ICTワークショップ） ③星空観測会 ④工作教室 ⑤リモート絵画教室 2) 青少年相談員連絡協議会活動事業 新型コロナウイルスにより、主な事業を中止したが、奉仕活動及び冬季に美化作業を実施し、地域社会の貢献に寄与した。 ①美化運動（冬季） ②奉仕活動（小学校玄関付近～バス停までの道路ライン塗り）
課題問題点	新型コロナウイルス感染拡大防止により、参加者の安全を第１に考え、例年と比べ事業・講座等を縮小して開催した。今後はコロナ禍の中でも安全に事業等を遂行するためにオンライン開催を多く取り入れるように検討しなくてはならない。
学識経験者の意見	安全を第一に考え、事業・講座等を開催したことは評価したい。また、プログラミング教室なども取り入れられて、時代の変化や子ども達の希望から改善が図られている。今後も安全を第一に考え、わくわくドキドキするような体験型の教室を工夫して開催してほしい。
委員会の評価	例年と比べ実施した事業が少ないが、コロナ禍の中で子ども達が楽しめる講座等を開催できたことは評価できる。現在の状況の中で事業を計画することは困難かもしれないが、今後も参加者に良かったと思われる事業等を開催する必要がある。

社会教育の指針

施策（３）	体育・スポーツの振興
主要課題	・スポーツ教室の開催 ・社会体育関係団体への活動支援 ・体育スポーツ活動の場の確保 ・指定管理者制度の導入
取組内容	スポーツを通じ青少年の育成支援
主な取組事業	1) スポーツ教室の開催 武道教室（柔道・空手道） 2) 社会体育関係団体への支援 スポーツ少年団活動（サッカー・軟式野球・ミニバスケットボール） 町スポーツ協会活動 3) 体育スポーツ活動の場の確保 町スポーツ協会加盟団体（バレーボール部、卓球部、グラウンドゴルフ部） 4) 指定管理者制度の導入 町所有のスポーツ施設の管理・運営を民間団体へ行政処分として委任する指定管理者制度導入に向けた準備
課題問題点	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度のスポーツ事業は軒並み中止となった。感染症はいまだ収束の見通しが立たない中で、積極的なスポーツ推進が難しい状況ではあるが、安全にスポーツ活動が実施できるよう感染防止対策を講じながら事業を進めていく必要がある。
学識経験者の意見	感染症予防に注意しながら、健康な町づくりの一翼を担うためにも活動の継続に努めてもらいたい。また、スポーツ活動が興味、関心を持った特定の町民に限られる傾向があるので、素人でも気軽に参加できて、健康増進につながるような普及活動にも努めてもらうと共に、子供たちが意欲的にスポーツに取り組むために、一層の社会体育の推進を期待したい。
委員会の評価	緊急事態宣言の発出により、スポーツ施設は貸出停止の対応を取ることであったが、再開にあたっては感染症対策がしっかり講じられた上で貸出がされていた。今後においても、スポーツ協会等と連携を図りながら、感染症に十分注意してスポーツの推進を行っていく必要がある。

社会教育の指針

施策（４）	伝統文化の継承と振興
主要課題	・郷土文化の普及・学習支援 ・文化財の保護と活用 ・文化活動の振興と支援
取組内容	町内に所在する文化財を保護するため、指定・巡視・調査など直接的な保護活動を行うほか、文化財への理解を広く一般に普及するために、郷土資料館で展示を行う。
主な取組事業	1) 県指定史跡油殿古墳群 史跡内草刈の実施 8月、11月 2) 企画展の開催 「古関裕而と旧豊栄村の学校」 9月1日～11月30日 日本を代表する作曲家、古関裕而氏の直筆の校歌（旧豊栄小及び旧豊栄中）の楽譜等を郷土資料館にて展示。 3) 生涯学習活動との連携 わくわく体験クラブ「まが玉作り体験」 8月8日 ①年賀状作成講座 ②まちなか星空観測会 町で出土したまが玉の観察や土器の破片の文様を写し取りしおりを作成した。 4) 博学連携 土器の資料貸出（長南小・長南中） 資料館収蔵の町内で発掘された縄文土器や弥生土器を小中学校に貸出し、小中学校の社会科授業に活用してもらった。 5) 国重要文化財に係る国庫補助事業への指導、助言 国の重要文化財の笠森寺観音堂の防災設備補修工事を国庫事業として実施するにあたり当該文化財の所有管理者であり事業主体者の笠森寺に指導、助言を行った。
課題問題点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は、文化祭などの様々なイベント、活動が中止となった。 今後、ワクチン接種が進みコロナ禍の状況は回復していくと思われるが、コロナ対策をしつつ、いかに文化活動を行っていくかを模索・検討し、行動に移していく必要がある。
学識経験者の意見	郷土資料館での企画展、史跡の草刈等文化財の保護とともに、町内出土品を活用した博学連携事業に取り組んでいることは、今後の子供たちのふるさと学習に生きていくと思われる。今後とも郷土資料館及び史跡見学出前授業を進めていただき、更なる活動をお願いしたい。
委員会の評価	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、文化活動が縮小したことは否めないが、その中で郷土資料館での「企画展」や「まが玉作り体験」など、郷土の歴史・文化の普及に努めていることは、一定の評価ができる。今後とも文化財の保護を図り、次代を担う子供たちへの文化の継承に努めていく必要がある。

資 料

【事業一覧】

学校教育課

主 な 事業名	事業費	事 業 内 容	成 果
キラリ 輝く長 南っ子 事業	千円 1,133	漢字能力検定・英語技能検定事業、伝統芸能・文化体験事業を行い、特色ある教育活動に取り組んだ。	検定事業により、基礎学力の向上とともに、伝統文化等に触れることで、郷土愛を育むことができた。
		◆長南小学校 1. 漢字能力検定事業（全学年） 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①芝原人形作り（4年生） ②水稻学習、正月飾り作り（5年生） ③生け花（6年生）	1. 漢字能力検定事業 漢字検定への取り組みを通して、児童の学習意欲が高まり、学習への習慣化が図れた 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①地域の伝統に触れ、創作活動を楽しむことができた。 ②自分たちが育てた稲で正月飾り（しめ縄飾り）を製作することで、地域の産業及び日本の伝統文化を学ぶことができた。 ③華道の基本的な形を取り入れた手法を体験を通して学び、日本の伝統文化に触れることができた。
		◆長南中学校 1. 検定事業 ①漢字能力検定事業（全学年） ②英語技能検定事業（全学年） ※新型コロナウイルス感染症予防の為に 太巻き寿司(小学5年生)、紅花染め ・袖風作り（中学1年生）、合同芸術鑑賞会を中止。	1. 検定事業 検定事業は、全校で取り組むことが出来、漢字・英語に興味関心を持って、意欲的に取り組んだ。

(1) 実施事業等

ア 教育支援委員会

令和2年10月1日(木) 第1回長南町教育支援委員会

①教育支援委員会委員長の選任について

②児童生徒の教育支援及び入級予定者の審議・判定について

令和2年12月3日(木) 第2回長南町教育支援委員会

①入級予定者の審議・判定について

②就学時健康診断結果について

(2) 学校関係

①東上総教育事務所所長訪問 令和2年6月18日(木) 長南小学校

②東上総教育事務所所長訪問 令和2年9月10日(木) 長南中学校

【学校給食事業】

給食所

・総給食数

	児童生徒数(人)	職員数等(人)	給食数(食)
長南小学校	230	26	42,446
長南中学校	134	20	25,564
給食所		9+2(検食・保存食)	1,826
合 計	364	57	69,836

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
社会教育事業	1,185	町民の学習要求、地域の実情に応えた講座、行事等の開催
	348	1. わくわく体験クラブ:参加者数 123名 ①まが玉作り体験 8月8日(土):27名 ②プログラミング教室(ICTワークショップ) 8月10日(月・祝):33名 ③星空観測会 8月20日(木):36名 ④工作教室 11月29日(日):16名 ⑤リモート絵画教室 2月7日(日):11名
	22	2. 単発学習教室:参加者56名 ①年賀状作成講座 12月19日(土):17名 ②まちなか星空観測会 12月22日(火):29名 ③オンラインデビュー講座 1月16日(土):10名
		3. ホタル観賞会 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
	5	4. ふるさと産品教室:参加者数 14名 正月飾り作り 12月26日(土)
	58	5. 七歳児合同祝:参加者数 41名 11月12日(木):長南保育所・長生学園幼稚園
	262	6. 成人式 緊急事態宣言により、開催を中止したが、町長と教育長の挨拶を動画配信したり、記念品としてクオカードと恩師のメッセージを贈り、新成人を祝い励ました。
	490	7. 青少年相談員:参加者数 7名 ①奉仕活動(道路ライン塗り)8月21日(金) 相談員:3名 ②美化作業(花壇の花植え)12月6日(日) 相談員:4名

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
公民館事業	230	町民のだれでも学べる教室・講座の開催
	224	1. 主催教室(公民館関係) :延べ参加者数 439名 ①カイロプラクティック運動教室(7回):50名 ②ハワイアンリボンレイ教室(3回):19名 ③三味線教室(10回):100名 ④パッチワーク教室(7回):42名 ⑤そば打ち教室(7回):61名 ⑥パソコン・スマホ教室(10回):167名 *新型コロナウイルスにより、6教室のみ開催。
		2. 子ども祭りin長南 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
	6	3. 文化祭 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
資料館整理	184	資料収蔵資料整理作業
		1. 郷土資料館 6月～3月 作業員3名
文化財保護	925	指定文化財等の保護・活用
		1. 県指定史跡油殿古墳群の草刈 8/22～8/26, 1/5～1/8 2. 指定文化財説明板の設置工事 県及び町指定文化財の説明板のリニューアル工事を実施。
社会同和事業		1. 人権講演会 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

海洋センター

- 17 -

【事業一覧】

海洋センター

主 　　な 事業名	事業費	内　　　　容	成　　　　果
		○スポーツ推進委員会関係 ・雪国体験ツアー 1月29日(金)～1月31日(日) 新潟県妙高市 国立妙高青少年自然の家	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

【教育委員会会議状況】

定例会 12回

開催日	議 決 事 項	協 議 事 項
第4回定例会 (4月27日)	(1) 長南町青少年問題協議会委員の委嘱について (2) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について (3) 長南町スポーツ推進委員の委嘱について (4) 長南町奨学事業運営審議会委員の委嘱について (5) 長南町教育支援委員の委嘱について (6) 令和2年度就学援助対象児童生徒の認定について (7) 長南町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示の制定について (8) 長南町給食所運営委員の委嘱について (9) 長南町教育功労者の表彰について	(1) 教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について
第5回定例会 (5月25日)	(1) 長南町社会教育委員の委嘱について (2) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 令和2年度就学援助対象児童生徒の認定について (4) 学校評議員の委嘱について (5) 長南町教育委員会に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について	
第6回定例会 (6月25日)	(1) 長南町社会教育委員の委嘱について (2) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 令和2年度就学援助支援児童生徒の認定について (4) 長南小学校学校運営協議会委員の委嘱について	
第7回定例会 (7月22日)	(1) 令和2年度就学援助支援児童生徒の認定について	
第2回臨時会 (7月22日)	(1) 令和3年度使用教科用図書の採択について	

第8回定例会 (8月25日)	(1) 令和2年度就学援助対象児童生徒の認定について	(1) 令和2年度(令和元年度対象)教育委員会の点検・評価について
第9回定例会 (9月25日)	(1) 令和2元年度七歳児合同祝について	
第10回定例会 (10月27日)	(1) 長南町文化財審議会委員の委嘱について (2) 令和2年度長南町文化奨励表彰について (3) 長南町立学校2学期制検討委員会設置要綱の制定について	(1) 長南町海洋センターの指定管理者制度の導入について(案)
第11回定例会 (11月26日)	(1) 令和2年度長南町教育支援委員会規則の制定について (2) 長南町奨学基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について (3) 長南町修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について (4) 長南町同和対策集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (5) 長南町郷土資料館及び長南町教育資料館管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について (6) 長南町中央公民館図書室規則の制定について	(1) 長南町海洋センターの指定管理者制度の導入について (2) 令和2年度成人式について
第12回定例会 (12月23日)	(1) 長南町立小学校及び中学校管理規則の一部改正について (2) 長南町同和対策集会所の管理運営及び使用等に関する規則の一部を改正する規則の公布について (3) 海洋センターの指定管理者の公募について (4) 長南町公の施設の指定管理者選定委員会の設置について	(1) 新型コロナウイルス感染症陽性確認に伴う当該児童生徒の学年公表について
第1回定例会 (1月25日)	(1) 令和2年度入学準備金支給対象者(令和3年度小学校入学予定者)認定について (2) 二学期制について (3) 長南町スポーツ施設の設置・管理及び運営に関する条例の一部改正について (4) 海洋センターの指定管理者の選定について	

第2回定例会 (2月24日)	(1) 令和2年度就学援助対象児童生徒の認定について (2) 令和3年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について (3) 長南町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について (4) 長南町教育功労者表彰について (5) 長南町青少年問題協議会委員の委嘱について (6) 令和3年度長南町予算(案)について (7) 長南町学校給食費補助金交付要綱の制定について (8) 長南町教育委員会教育長の辞職の同意について	
第3回定例会 (3月24日)	(1) 令和3年度長南町教育委員会学校教育課会計年度任用職員の任用について (2) 令和3年度長南町給食所会計年度任用職員の任用について (3) 長南町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について (4) 長南町スポーツ施設の設置・管理及び運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	